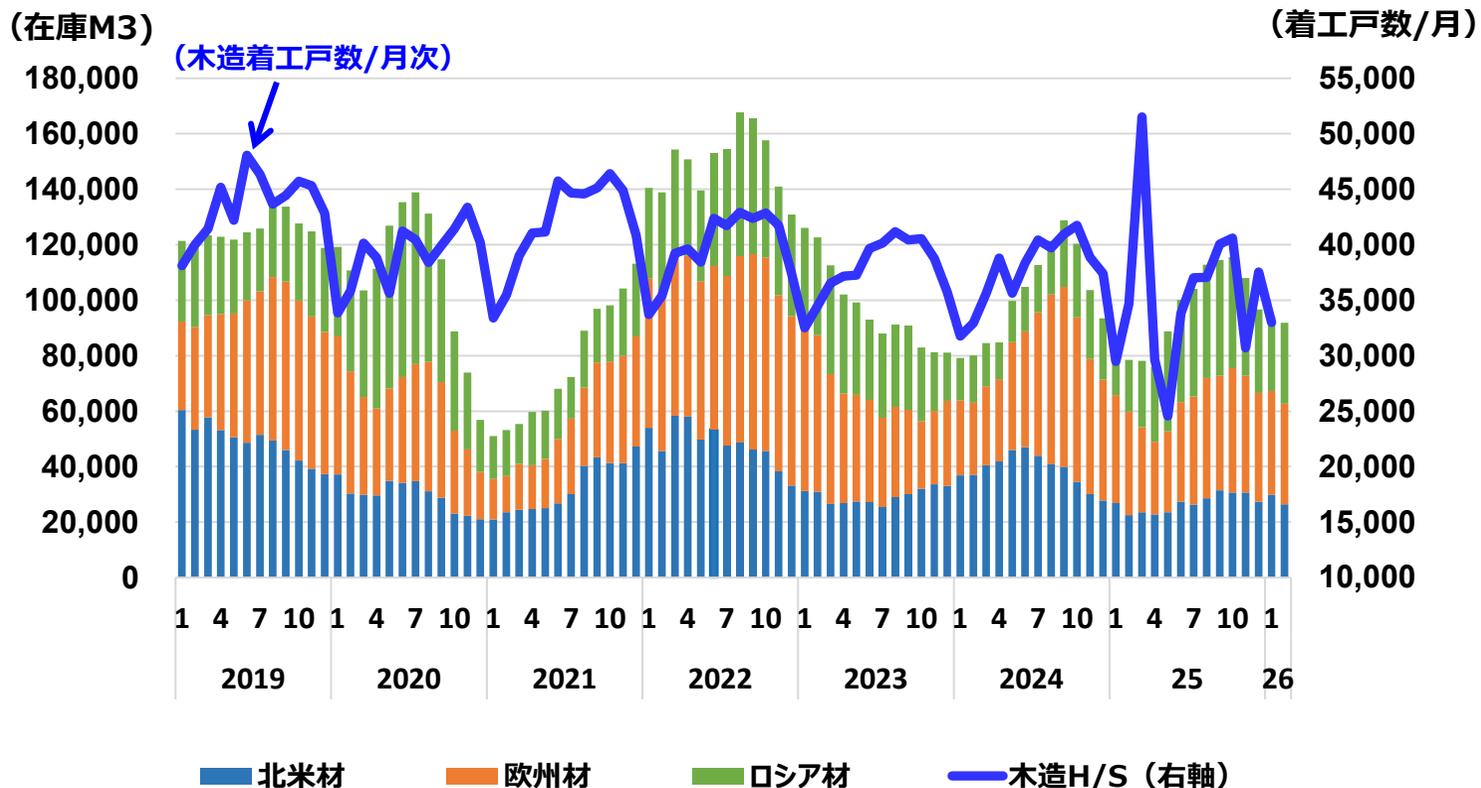


「東京港製材品在庫」と「木造着工数」の推移 2019～26年

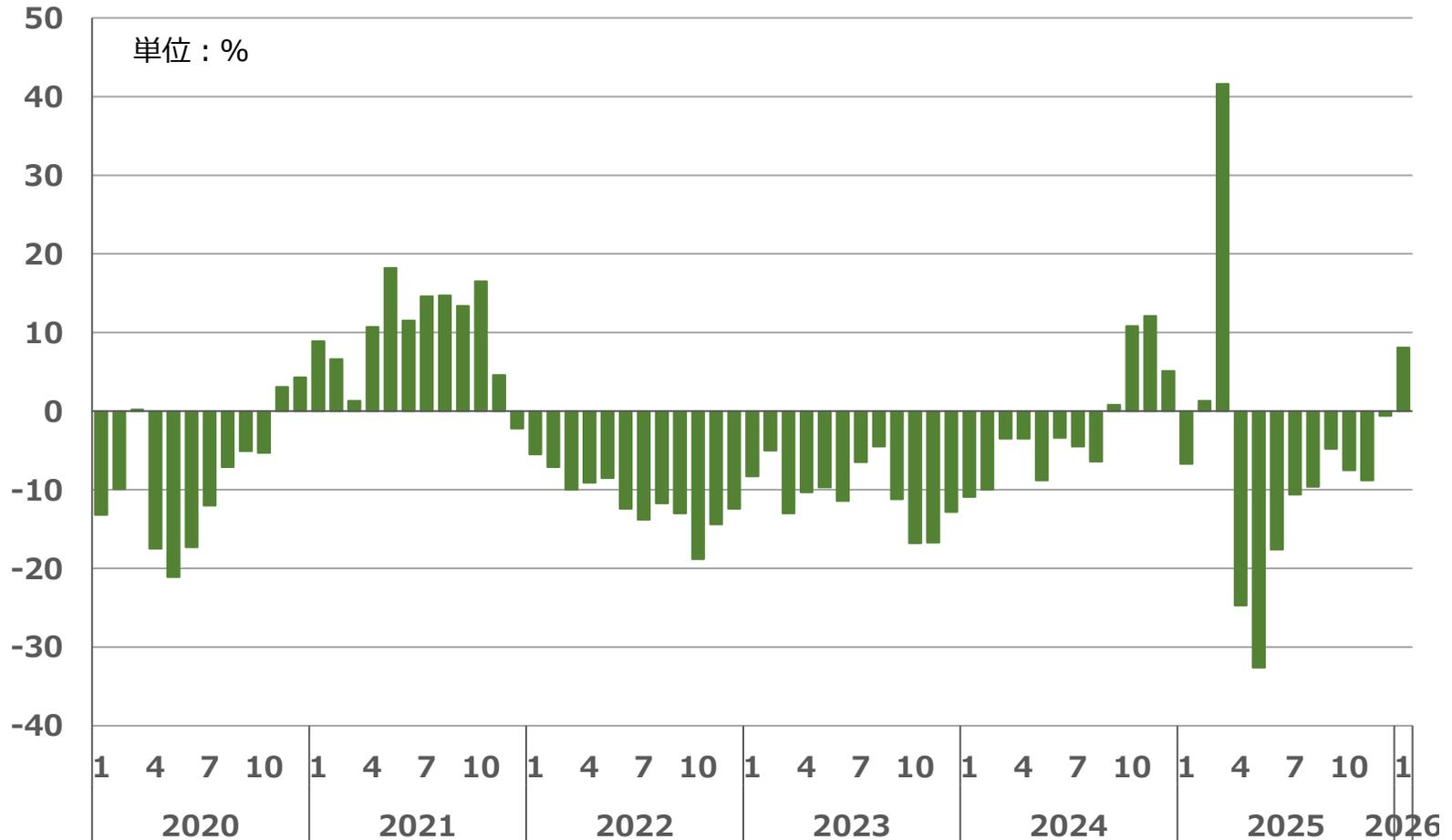
- 2026年2月の東京港製材品在庫量（前年同期比）は、先月に引き続き減少。北米材は、前月から13%減少の26,396^m（15%）、欧州材は前月から3%減少の36,328^m（-3%）と引き続き低位。イラン情勢やユーロ高の影響により、欧州材の今後の供給を懸念する声あり。ロシア材は、29,119^m（+36%）と前月から8%増加したが、一時的なものとの声あり。
- 2026年1月の木造着工戸数は32,986戸（前年同期比+11%）と前月から増加。



木造持家住宅着工戸数の対前年比の推移

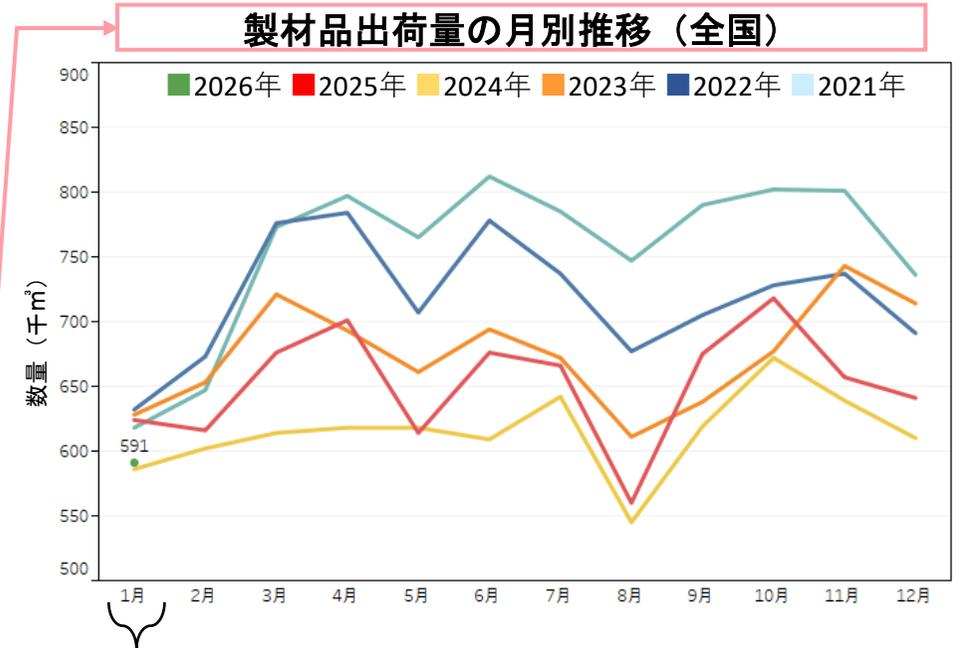
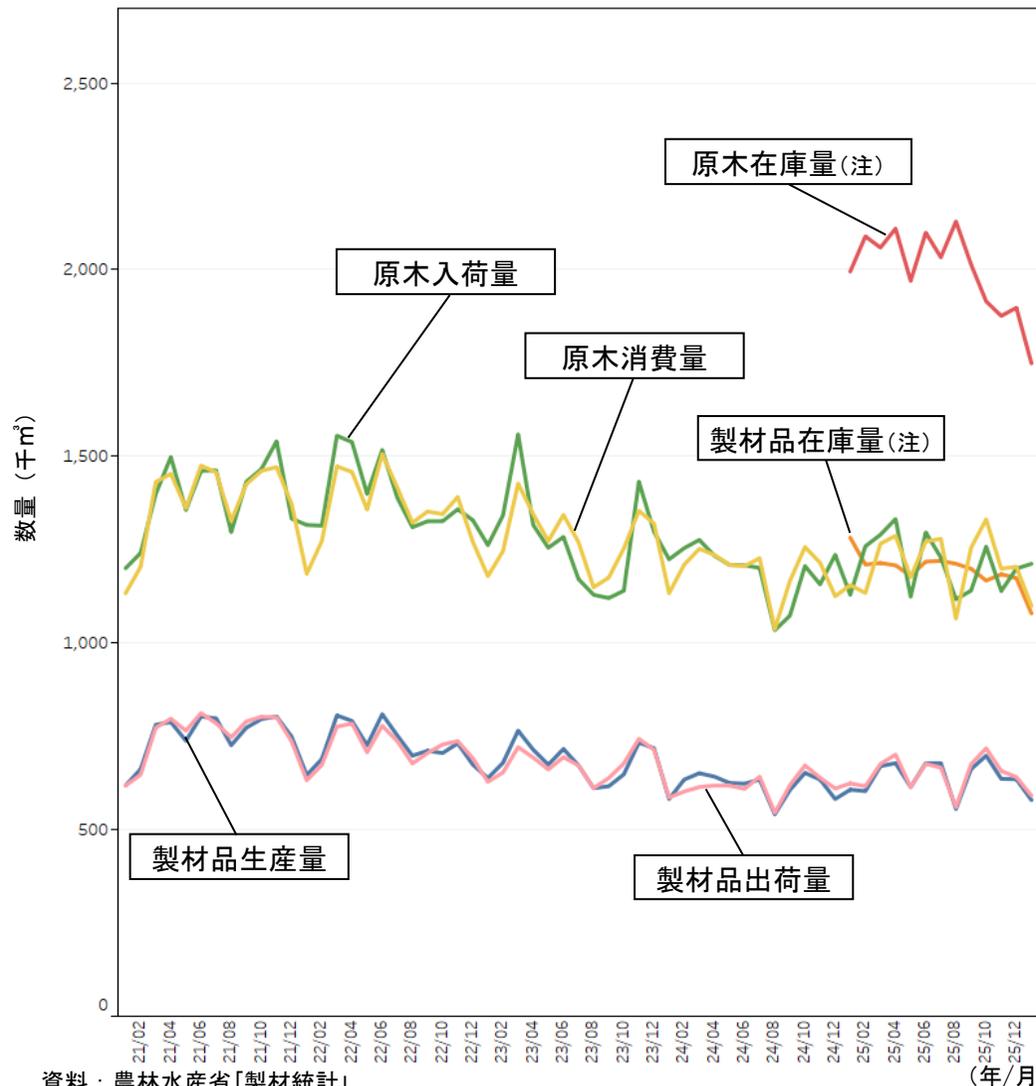
住宅着工戸数のうち、国産材の使用比率が比較的高い「木造持家」着工戸数についての、対前年比率。

○ 2026年1月の木造持家着工戸数は、13,026戸（前年同期比+8.1%）と12月から8.7%上昇。



工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向 製材（全国）

- 2026年1月の原木の入荷量は1,212千m³（前年比107%）。
- 同様に製材品の出荷量は591千m³（前年比95%）。



	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1月原木入荷量 合計(千m ³)	1,200	1,316	1,262	1,224	1,129	1,212
前年との比較	-	110%	96%	97%	92%	107%
1月製材品出荷量 合計(千m ³)	618	632	628	586	624	591
前年との比較	-	102%	99%	93%	106%	95%

資料：農林水産省「製材統計」

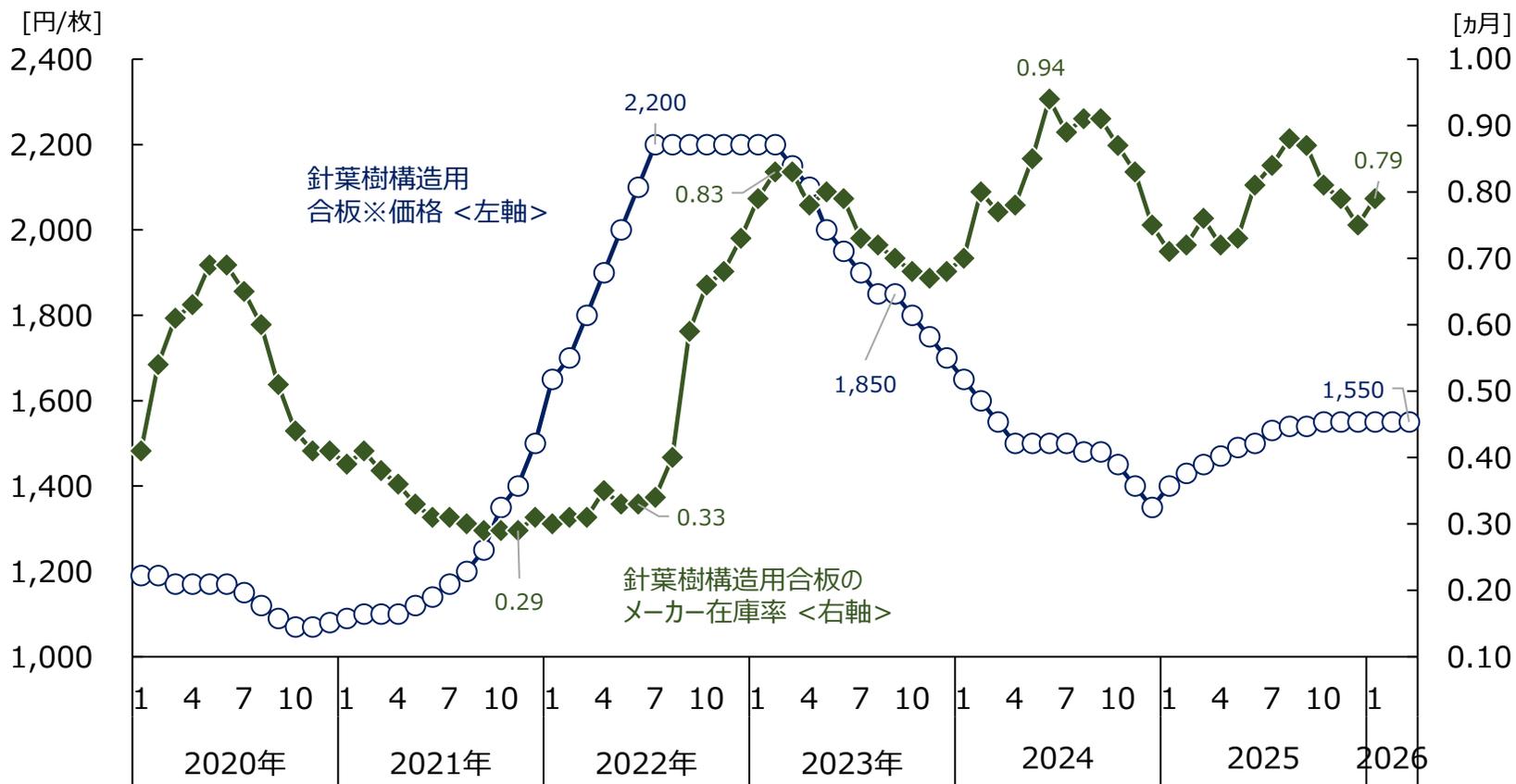
(年/月)

注) 原木在庫量、製材品在庫量については、2025年1月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

針葉樹構造用合板価格と合板メーカー在庫率の推移

在庫率 = 当月在庫量 / 当月を含む過去6ヶ月の平均出荷量

- 2026年1月の在庫率は0.79ヵ月分と12月から0.04ポイント増加。
- 2026年2月の針葉樹合板価格は1,550円と先月から横ばい。



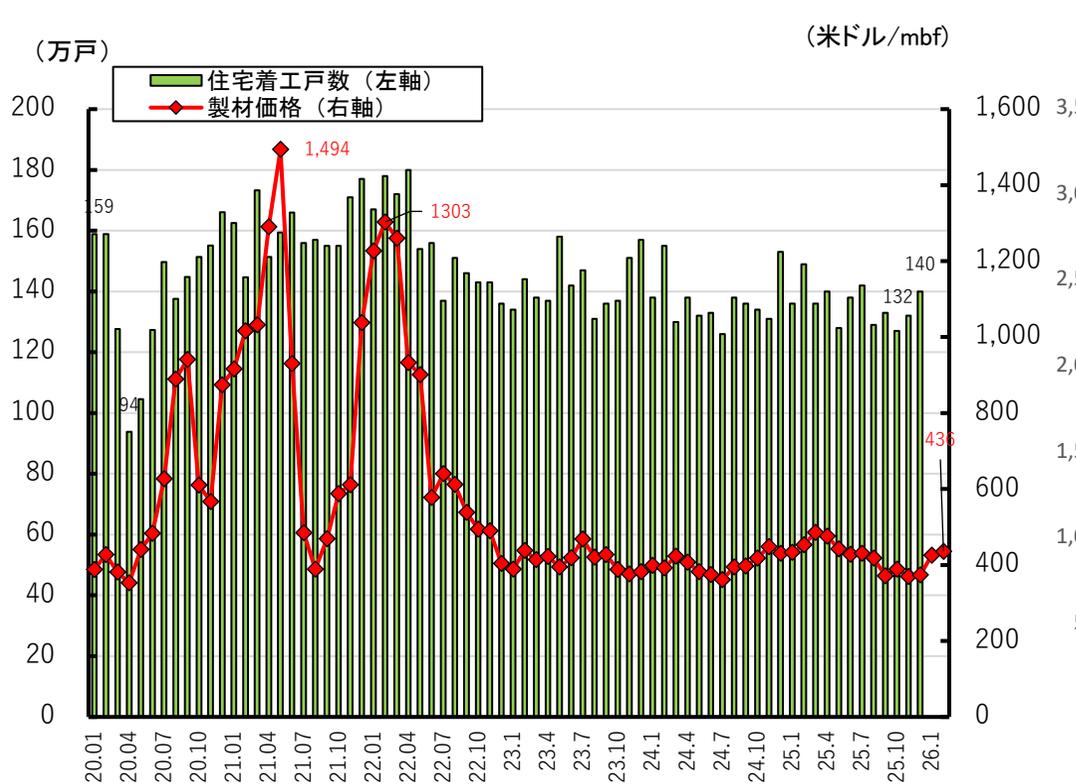
※12.0mm×91cm×182cm、1類

資料：農林水産省「合板統計」、日本木材総合情報センター「市況検討委員会資料」

注) 2025年1月から「合板統計」における当月在庫量の算定方法に変更があったため、前月までの在庫率の推移とは接続しない。

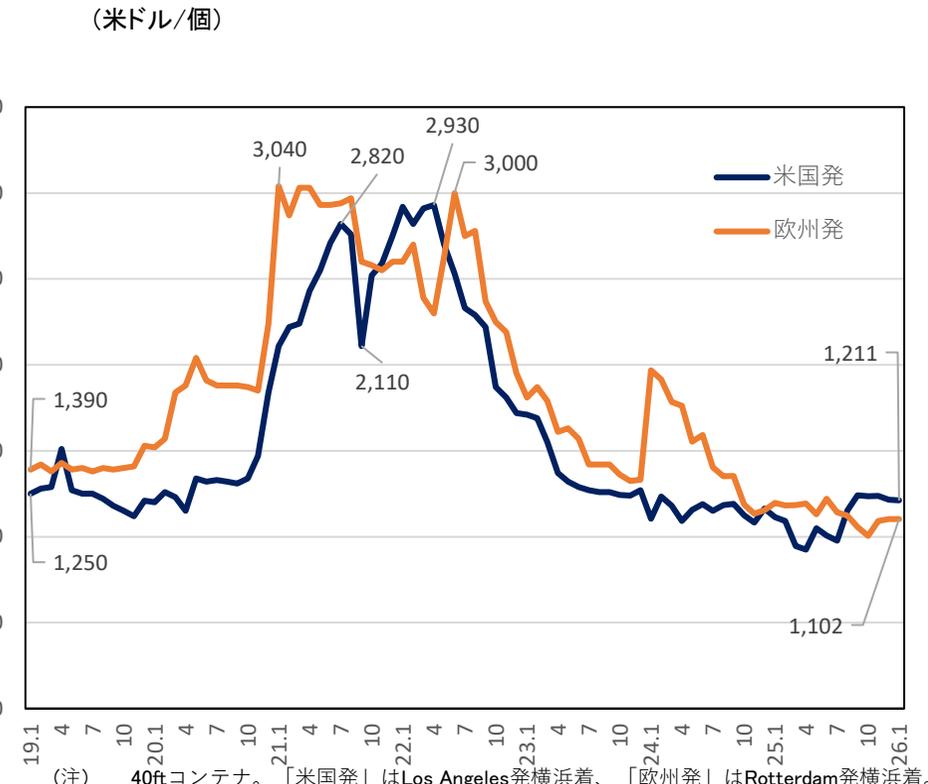
(参考1) 米国における木材価格の動向等

- **米国の住宅着工戸数**（戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後回復し、**2022年5月からは概ね130~150万台で推移**。
2025年12月は前月比+6%増の約140万户。※2026年1月分の更新情報はなし
- **北米の製材価格**は、2020年夏頃から大幅な変動を繰り返し、2021年5月には1,494ドル/mbf、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録した後、2023年以降は概ね400ドル/mbf前後で推移。**2026年2月は436ドル/mbf（前月比+2%増）**。
- **日本向けコンテナ運賃**は、欧州発、米国発ともに一時期高騰したものの、**2023年末時点で概ね元の水準まで下落**。
2024年1月には、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発が一時期高騰。



資料：（住宅着工戸数）米国商務省「住宅着工統計」（季節調整済み、年率換算、戸建て計）
（製材価格）Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」（月末価格、2022年6月以降は月中価格）

米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。
(出典) Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

日本向けコンテナ運賃の推移